


筆順について



筆順テスト

皮 反
有 左
男 別
長 馬

友 右

点 王 上 土 座
発 必
収 快
蔵

⌘ 全問正解できましたか？

筆順の諸問題

■ 自分が覚えた時と、筆順が変わってしまって、困ります。??

■ 筆順は、いつ誰が決めたの？

■ どんなふうに決めたの？

■ 最近では、筆順がめちゃくちゃだ！

■ なぜ覚えなくてはいけないの？

■ 読めれば良いのでは？

■ 覚えるということ

■ 書きやすさという視点

何に定められているか？



???

文部省 『筆順指導の手びき』 昭和33年3月

そのまま

筆順とは

⌘ 筆順とは

⌘ 文字の形を実際に紙の上に書き現そうとするとき、

⌘ 一連の順序で点画が次第に現されて一文字を形成していく順序

であると言えよう。

1. 本書のねらい

筆順とは文字の形を実際に紙の上に書き現わそうとするとき、一連の順序で点画が次第に現わされて一文字を形成していく順序であると言えよう。

筆順は、全体の字形が、じゅうぶんに整った形で実現でき、しかもそれぞれの文字の同一の構成部分は、一定の順序によって書かれるように整理されていることが、学習指導上効果的であり、能率的でもある。このことは、漢字ばかりでなく、かな、ローマ字等についても、同じことが言える。

漢字の筆順の現状についてみると、書家の間に行われているものについても、通俗的に一般社会に行われているものについても、同一文字に2種あるいは3種の筆順が行われている。特に楷書体の筆順について問題が多い。

このような現状から見て、学校教育における漢字指導の能率を高め、児童生徒が混乱なく漢字を習得するのに便ならしめるために、教育漢字についての筆順を、できるだけ統一する目的を以て本書を作成した。本書においてはとりあえず楷書体の筆順のみを掲げたが、楷書体の筆順がわかれば、行書体についても、おのずとそれが応用され得ると思われる。

もちろん、本書に示される筆順は、学習指導上に混乱を来たさないようにとの配慮から定められたものであって、そのことは、ここに取りあげなかった筆順についても、これを誤りとするものでもなく、また否定しようとするものでもない。

『...手びき』のねらい

- 全体の字形が十分に整った形で実現でき
- 同一の構成部分は、一定の順序によって書かれるように整理
- 学校教育における漢字指導の能率を高め、児童生徒が混乱なく習得するのに便ならしめるため

1. 本書のねらい

筆順とは文字の形を実際に紙の上に書き現わそうとするとき、一連の順序で点画が次第に現わされて一文字を形成していく順序であると言える。

筆順は、全体の字形が、じゅうぶんに整った形で実現でき、しかもそれぞれの文字の同一の構成部分は、一定の順序によって書かれるように整理されていることが、学習指導上効果的であり、能率的でもある。このことは、漢字ばかりでなく、かな、ローマ字等についても、同じことが言える。

漢字の筆順の現状についてみると、書家の間に行われているものについても、通俗的に一般社会に行われているものについても、同一文字に2種あるいは3種の筆順が行われている。特に楷書体の筆順について問題が多い。

このような現状から見て、学校教育における漢字指導の能率を高め、児童生徒が混乱なく漢字を習得するのに便ならしめるために、教育漢字についての筆順を、できるだけ統一する目的を以て本書を作成した。本書においてはとりあえず楷書体の筆順のみを掲げたが、楷書体の筆順がわかれば、行書体についても、おのずとそれが応用され得ると思われる。

もちろん、本書に示される筆順は、学習指導上に混乱を来さないようにとの配慮から定められたものであって、そのことは、ここに取りあげなかった筆順についても、これを誤りとするものでもなく、また否定しようとするものでもない。

学習指導以外は？

- 学習指導上に混乱をきたさないようにとの配慮から定められたものであって、
- ここに取り上げなかった筆順についても、
 - これを誤りとするものでもなく
 - また否定しようとするものでもない。

1. 本書のねらい

筆順とは文字の形を実際に紙の上に書き現わそうとするとき、一連の順序で点画が次第に現わされて一文字を形成していく順序であると言える。

筆順は、全体の字形が、じゅうぶんに整った形で実現でき、しかもそれぞれの文字の同一の構成部分は、一定の順序によって書かれるように整理されていることが、学習指導上効果的であり、能率的でもある。このことは、漢字ばかりでなく、かな、ローマ字等についても、同じことが言える。

漢字の筆順の現状についてみると、書家の間に行われているものについても、通俗的に一般社会に行われているものについても、同一文字に2種あるいは3種の筆順が行われている。特に楷書体の筆順について問題が多い。

このような現状から見て、学校教育における漢字指導の能率を高め、児童生徒が混乱なく漢字を習得するのに便ならしめるために、教育漢字についての筆順を、できるだけ統一する目的を以て本書を作成した。本書においてはとりあえず楷書体の筆順のみを掲げたが、楷書体の筆順がわかれば、行書体についても、おのずとそれが応用され得ると思われる。

もちろん、本書に示される筆順は、学習指導上に混乱をきたさないようにとの配慮から定められたものであって、そのことは、ここに取りあげなかった筆順についても、これを誤りとするものでもなく、また否定しようとするものでもない。

⌘ 「取り上げなかった筆順」とは？

指導にあたって

- 本書において述べる筆順の原則の上に立って行われるようにしたい。
- 過程を理解させることが大切である。
 - 複雑なものについて、特に正確さをねらって
 - 低学年や...基本的なものについて
- 計画的・系統的に
- 教師の板書は、つねに定められた筆順によって

2. 筆順指導の心がまえ

筆順指導は、本書において述べる筆順の原則の上に立って行われるようにしたい。そのことのためには、まず筆順の原則をじゅうぶんに理解させながら、書写指導を行うことが望ましい。

筆順指導に当っては、次に記す事項に留意して、その指導の徹底を期するようにしたい。

- (1) 筆順は、一応社会的な習慣として成立している面もあるが、これに書写指導の教育的な観点も考え合わせて、一定の筆順によって指導することが望ましい。
- (2) 筆順は、点画が順次重ねられて一文字を形成していく順序であると考えられる。したがってその指導に当っては、どのような点画が、どのように順次重ねられていくかの過程を、理解させることがたいせつである。
- (3) 筆順指導の基本となるものや、筆順が複雑なものについては、特に正確さをねらって理解させることが、その後の指導にとっても効果的である。
- (4) 低学年や遅進児の指導に当っては、特に筆順指導の基本的なものについて、その理解と習熟をはかることが望ましい。
- (5) 筆順指導のために、特に多くの時間をさくことは必要としないが、既習の文字との連関をじゅうぶんに考慮して、計画的・系統的に行うことが望ましい。
- (6) 筆順指導を読解指導と同時に行うことは、読解指導にも、筆順指導にも、かえってその徹底を欠く恐れがあるから、このことは避けるべきである。
- (7) 教師の板書は、つねに定められた筆順によって書くようにしたい。

筆順の原則 とは？

■ 大原則1

■ 上から下へ

■ 大原則2

■ 左から右へ

■ 部分も、点画も

■ 原則6

■ 左払いが先

原則 5

左払いがさき

『左払いと右払いとが交差する場合は、左払いをさきに書く。』

左払いと右払いとが接した場合も同じ。

文(ナナ文)父
故支収処
人入欠金

(1)

大原則 1

上から下へ

『上から下へ（上の部分から下の部分へ）書いていく。』

a. 上の点画から書いていく。

b. 上の部分から書いていく。

三(一三三)言
工(一丁工)

喜(キ吉吉吉喜)

客(客客客)

築(ヤ筑築)

大原則 2

左から右へ

『左から右へ（左の部分から右の部分へ）書いていく。』

a. 左の点画から書いていく。

b. 左の部分から書いていく。

へんがさきで、つくりがあと。(この部類の漢字が最も多い。)

3つの部分の左から

川(リ川川)順州
学(、〃ツ)拳魚
帯(十十十世)¹²³⁴

豚(イイ衆)

竹(ケ竹)羽

休(イ休)林語

例(イ例)

側湖術

横画はあと、さき？

横画と縦画が交差した時は、

■原則1

■横画がさき

■ほとんどの場合、横画をさきに書く

■原則2

■横画があと

■次の場合に限って「田」「王」「王の発展」

■例外則じゃない！

原則 2

横画があと

『横画と縦画とが交差したときは、次の場合に限って、横画をあとに書く。』

a. 田

b. 田の発展したもの

c. 王

d. 王の発展したもの
(イ) 中の横画が2つになっても

(ロ) 縦画が上につきぬけても

(ハ) 縦画が2つになっても

田(口田田田)
男異町細
由(口巾由由)
油黄横画
曲(口巾曲曲)
豊農

角(刀月用用)解
再(百市再再)構
王(一丁王王)玉
主美差義

王*(一丁王王)
進(尸巾能能)
雑集確観
馬(一丁馬馬)馱

主*(一十主主)生
麦表清星

主*(一十主主)
寒構

原則 1

横画がさき

『横画と縦画とが交差する場合は、ほとんどの場合、横画をさきに書く。』

(横画があとになるのは原則2の場合)

a. 横・縦の順

縦画が交差した後にまがっても

前後に他の点画が加わっても

b. 横・縦・縦の順

あとに書く縦画が2つになっただけ。

縦画が3つ以上になっても

c. 横・横・縦の順

さきに書く横画が2つになっただけ。

前後に他の点画が加わっても

横画が3つ以上になっても

縦画が交差した後まがっても

d. 横・横・縦・縦の順

横・縦ともに2つになったもの

十(一十)
計古支草
土(一十土)
圧至舎周
士(一十士)
志吉喜

七(一七)切
大(一ナ大)太

告(ノルナ止)
先任庭

木(一十木)述
寸(一十寸)寺

共(一廿止)散港
編(口口田)

花(一サ)荷
算(一サ)形鼻

帯(一ナササ)
無(一ナ無無)

用(刀月用)通
末末妹

耕(三サ末)
夫(一ナ夫)

春実

耕(一ナ井)圃

中なの、外なの？

■ 中が先

- 中と左右があって、左右が1-2画である場合には

■ 外側が先

- くにかまえなど囲む形

■ つらぬく縦画は最後

■ 細かい！

原則 4

外側がさき

『くにかまえのように
囲む形をとるものは、
さきに書く。』

「日」や「月」なども、
これに含まれると考
えてよい。
注: 「区」は右のよう
に書く。「医」も同じ。

国(口国国)因
同(口同) 円
内(口内)肉納
司(冫司)詞羽
日月目田

区(一又区)

原則 6

つらぬく縦画は
最後

『字の全体をつらぬく
縦画は、最後に書く。』
下の方がとまっても

中(口巾)申神
車半事建
書(言書)妻

原則 3

中がさき

『中と左右があって、
左右が1, 2画である
場合は、中をさきに書
く。』

中が2本になっても

中が少し複雑になっ
ても

〔例外〕

原則3には、2つの
例外がある。

小(丨小)少京
示宗 糸細
当(丨小)光常
水(丨小)氷永
氷*(丨小)緑暴
氷*(丨小)衆

業(丨小)業
赤(丨小)变
楽(白泊赤)楽
承(冫承)率

性(丨小)性
火(丨小)火
秋炭 焼

横画と左払い

■ 原則8

■ 横画と左払い

- 横画が長い場合は、払いが先
- 払いが長い場合は、横画が先

原則 8

横画と左払い

『横画が長く、左払いが短かい字では、左払いをさきに書く。』

横画が短かく、左払いが長い字では、横画をさきに書く。』

右 (ノナ右)

有布希

左 (一ナ左)

友在存抜

間違いやすい部分

(8)

8. 「興」の筆順としては、①と②が考えられるが、本書では大原則2にそう①をとる。	興 {(𠂇 偏 側).....① {(目 偏 側).....②
B. 原則では説明できないもの 1. には、さきに書くように(a)と、あとに書くように(b)とがある。	(a) 久走免是 処起勉題 (b) 之又し 近建直
2. さきに書く左払い(a)と、あとに書く左払い(b)とがある。	(a) 九及 (b) 力刀万方別

参考 ①の筆順を、現在、小・中学校で学習させている。

△印の「盛」は、平成元年度告示の「学年別漢字配当表」以後配当される。

(7)

5. 「感」の筆順には、①と②とがあるが、本書では、字体表の字体と一致し、大原則1にそう①をとる。 注. 当用漢字別表にはないが「盛」も同じである。(△)	感 {(𠂇 咸 感).....① {(𠂇 愿 感).....② 盛 𠂇成盛 𠂇𠂇盛
6. 「馬」の筆順には、①や②とがあるが、本書では、大原則1にそう①をとる。 注. このようになれば「佳」とも共通する。	馬 {(𠂇 𠂇 𠂇 馬).....① {(𠂇 𠂇 馬 馬).....② 佳(𠂇 𠂇 𠂇 佳)
7. 「無」の筆順には、①や②とがあるが、本書では大原則1にそう①をとる。	無 {(𠂇 𠂇 𠂇).....① {(𠂇 𠂇 𠂇).....②

特に注意すべき筆順

A. 広く用いられる筆順が、2つ以上あるものについて

1. (A)の字は、もともと①の筆順だけである。

(B)の字は①も②も行われるが、本書では(A)にあわせて、①をとる。

注. ただし、行書になると、②の方が多く用いられる。

2. 「耳」(a)は①の筆順が普通である。

みみへん(b)は①も②も行われるが、本書では(a)にあわせて、①をとる。

3. 「必」の筆順は、いろいろあるが、②は熟しておらず、②よりも①が形をとりやすいので、本書では①をとる。

4. はつかしらの筆順は、いろいろあるが、本書では、左半と対称的で、かつ最も自然な①をとる。

注. 「祭」のかしらは、原則5によって、右の筆順になる。

(A)

止正足走武
(丨ト).....①

(B)

上点店
{(丨ト).....①
{(-ト).....②
上点店

(a) 耳(𠂇 耳).....①

(b) 取最職嚴
① { (𠂇 耳) ①
② { (𠂇 耳) ②

必

{ (ノ 乚 必 必) ①
{ (ノ 乚 必 必) ②
{ (心 必) ③
その他

発登

{ (𠂇 𠂇 𠂇) ①
{ (𠂇 𠂇 𠂇) ②
{ (𠂇 𠂇 𠂇) ③

祭(𠂇 𠂇)

凹	凸	肅	尙	叔	兆	虐	為	亜	臼	巨	匹	升	乃
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
凹	凸	肅	尙	叔	兆	虐	為	亜	臼	巨	匹	升	乃
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇

〔中学校で新出の文字や部分の筆順〕

筆順テストの解答

皮 反

有 左 友 右

男 別

長 馬


点 王 上 土 座

発 必

収 快

蔵

あらたな問題



- どんなふうに決めたの？
 - たくさんの矛盾！！
- 最近、筆順がめちゃくちゃだ！
- なぜ覚えなくてはいけないの？
- 読めれば良いのでは？
 - 覚えるということ
 - 書きやすさという視点